

## ～海外交流研修での思い出～

大中山中学校 2年 山田 ありさ

10月1日から10月11日までの間、私はアメリカ・マサチューセッツ州にあるコンコード町、それからボストンへ行き、これまでにない貴重な体験をしてきました。中学校で面接を終え、行けると決まった時は、言葉にできないほどの嬉しさと喜び、そして不安がありました。

函館から成田まで飛行機とバスを使って移動し、成田国際ホテルでの一泊。その日の夜は、ワクワクして、なかなか眠れませんでした。次の日、成田空港からボストン直行便の飛行機に搭乗し、いよいよ日本出発。13時間という初めてのフライトで、色々な不安があったり、気分がすぐれなかったりで少し大変だったけど、無事ボストン空港に。飛行機から降りた瞬間、見たことのない景色、次々に聞こえてくる英会話…全てが新鮮で、気分は一気に上昇しました。しかし、入国審査で時間がかかり、予定していた「オールド・ノース・ブリッジ」に行くことができなくなってしまいました。全員が終わるまで待っていた時、トムさんと色々なお話ができたので良かったです。

ボストン空港から、スクールバスに乗ってCCHSへ。初めて見る、黄色いスクールバスは、絵本でしか見たことのないようなもので、とても可愛らしかったです。



スクールバス

CCHSでホストファミリーのジェイクと対面して、学校の中でピザを食べたのですが、一切れがとても大きくてびっくりしま

した。ピザを食べながら、ジェイクやその他のホストファミリー、学校の生徒達と自己紹介をし合ったり、簡単におしゃべりをしました。全ての英語を聞き取ることはできませんでしたが、みんな明るくておもしろくて、積極的に話しかけてきてくれたので、自然と緊張と不安はほぐれていきました。

ハリーの車で家に向かい、ホストマザーのジョイス、それから愛犬のズーマーとも対面し、家の中を案内してもらいました。部屋が全部大きくて、庭にはプールと温泉がありました。この素敵なお家とホストファミリーと六日間、一緒に生活するんだと考えたら、ワクワクしてたまりませんでした。そ

の日の夜は、家族みんなでたくさんのお話をしました。日本から持ってきたお土産も渡しました。お母さんは扇子、お父さんはポストカード、ジェイクはお菓子を喜んでくれていたように見えました。

次の日から二日間、ジェイクと一緒に学校へ通いました。日本と違うことが多過ぎて、驚くばかりでした。例をあげると、授業の開始時間がとても早いこと、授業ごとに生徒が移動すること、授業中に立って歩いたり、飲食したりすること。特に二つ目と三つ目は日本では有り得ないことなので本当に驚きました。その他にも、ロッカーにたくさんのお落書きのようなものがあったり、掃除をしなかったりとびっくりすることが多くて、私は常にカメラで



アメリカンフットボールの試合

撮影をしていました。学校でのことはとても心に残っている出来事の一つです。

心に残っている出来事はまだいくつかあります。一つはアメリカンフットボールの試合を観に行ったことです。CCHSの吹奏楽部が応援として演奏していて、私も吹奏楽をやっているのも楽しむことが

できました。二つ目は、お母さんにコンコードの商店街に連れて行ってもらったことです。おもちゃ屋さん、雑貨屋さん、服屋さんに行き、お土産を買いました。お金を使うのにまだ慣れていなくて焦ることもありましたが、店員さんがとても親切で問題なく買い物することができました。帰りにダンキンドーナツというドーナツ屋さん寄ってドーナツを買ってもらいました。とても甘いんじゃないかというイメージがあったのですが、食べてみたらすごくおいしかったです。

三つ目はホームステイ五日目と最後の日の出来事です。五日目は、ホストファミリーと教会と科学館へ行きました。特に科学館は、ディズニーキャラクターのコーナーがあり、私が知っているキャラクターもたくさんいたのでとても楽しかったです。また教会のすぐ近くの公園には野生のリスがたくさんいて驚きました。人に慣れているらしく、結構間近で見ることができたのでたくさん写真を撮りました。最後の日は、夕食に日本料理屋さんへ連れて行ってくださいました。お寿司と天ぷらなどを食べました。徐々に日本食を食べて、少し日本が恋しくなりました。また、家族で写真を撮ったり、携帯の翻訳機能などを用いて色々な話をしました。話をする中で、来年の春にジェイクが日本へホームステイをすると聞いて、私は“また会えるかもしれない”

…そう思い、とても嬉しい気持ちがこみ上げてきました。夕食を済ませたあとは近くのアイス屋さんへ行きました。アイスは自分で味を選び、トッピングし、重さを計ってお金を払うというもので、初めてやったので楽しかったです。しかし量が多過ぎて少し残してしまいました。

次の日の朝、お母さんと別れる時、前の日の夜にさきさんと書いたメッセージカードを渡しました。学校でお父さんやジェイクと別れる時はハグをして、帰ってからメールをしようと約束しました。ホストファミリーと別れることはとてもさみしかったです、笑顔で別れられたので良かったです。



ホストファミリー

今回の海外交流研修を通して、私はたくさんのお話を学びました。十一日間という短い間の中で、一緒にホームステイをしたさきさんと協力して、片言の英単語とジェスチャーを使い、楽しくコミュニケーションをとることができ、日本とアメリカの違いにもたくさん気づくことができました。そして、もっともっと英語の勉強を頑張って、またアメリカ、コンコードを訪れたいです。

本当にありがとうございました。